

日本語教室の課題はしいたけ栽培



みんな、
元気？

しいたけに元気をもらって

4月8日から始まった当センターの日本語・文化活動教室も、5月7日に北海道がまん延防止等重点措置区域に追加され、さらに5月14日には緊急事態宣言対象地域に追加されたことから、休講となってしまいました。そこで、当センターでは宿題として受講生のみなさん

にしいたけ栽培セットを送り、成長の様子を観察し、どれだけ収穫できたか、どのように料理したかまでを記録して、教室再開時に発表してもらうこととしました。

ぐんぐん成長してゆかしいたけを見て、みなさんにも元気になってもらえたでしょうか。

しいたけはこんなに早く成長します！



まずは菌床に水をたっぷり含ませます。



少しずつ芽が伸びています。



3~4日でこんなに伸びます。



さらに伸びて行って・・・



1週間でこんなに立派になりました！



そして、いよいよ収穫！

みんなが喜んだ「おもしろい宿題」

突然届いた小包に驚いた人もいましたが、この宿題はとても面白いと喜ばれ、それぞれ立派なしいたけが育ちました。そして、その家庭のおいしい味に変身しました。

●帰国者 M さんの場合



炒めものは、中国でもロシアでもきのこ料理の定番。



●帰国者 S さんの場合



温度が高すぎるとしいたけはうまく育ちません。まずは氷水でしっかりと冷やして



たくさん育たしいたけをお味噌汁にたっぷり入れました。



●帰国者 U さんの場合



立派に大きく育てたしいたけを、丸ごとオムレツの具に。



～同居するお母さんがよろこんだことを、お便りにつづってくれた帰国者もいました～

こんにちは。

先日はありがとうございました。ママがよくがんばって、しいたけの芽がたくさん出て来ました。76個採れました。豊かな収穫でした。毎日楽しかったです。毎日ママの笑顔を見るのは嬉しいです。素晴らしいアイデアです。

ありがとうございました。



日本語教室で初めての試み

挑戦する姿勢に脱帽

今回の休講期間中に、初めてのオンライン日本語教室が開かれました。

Zoomアプリを使ってのオンライン授業でしたが、受講希望者全員がZoomを使ったことがなく、事前にひとりひとりと接続テストを行ったうえでの開講となりました。やっとながったと思ったら、顔は見えるけれども、声が聞こえない、など接続テストもなかなか大変。それでも最終的には4名の受講希望者全員がZoomを使えるようになり、そろって授業を受けることができました。今回の受講生の平均年齢は81歳。



高齢でも新しいことに挑戦しようとする姿勢には、本当に頭が下がります。

受講した帰国者からは、「こういうことができるとは知らなかった。これがオンラインというものかと思った」「この状況の中で授業を受けられてよかった」という声と同時に「やはり実際に顔を合わせるほうがいい、今は仕方がないけれど」「人数が少ないのが残念。少ないと自分の順番がすぐに回ってくる(笑)」などの声が聞かれました。

当センターにとって初めての試みであり、また帰国

者のみなさんにも新しいことを体験してもらう機会となりました。

帰国者のワクチン事情

接種がはじまり・・・



新型コロナウイルスのワクチン接種が開始となり、帰国者のみなさんも接種を受け始めています。やはり、この状況の中で早く受けたいという人も少なくありません。かかりつけの病院で受ける人が多いようですが、接種が行われていない病院も、もちろんあります。

「以前通ったことのある病院では、ワクチン接種はやっていないと言われた。家のすぐ近くにある病院でやっているとわかり、電話したら翌日受けることができた。特に痛くもなく、副反応もなかった」

「電話で予約を取るのとはとても大変だった。最初は自分で試みたけれど、うまくいかず、支援・相談員をお願いして予約してもらった」。

ワクチン接種を済ませると、やはりどこか安心できるようです。けれども、二回分を病院で予約していたのに、急にできないと言われたり、一回目を接種後、二回目が急に延期になったり、ということも起こっています。帰国者のみなさんの不安を募らせるような事態が早く収束すること、また今後そのようなことが起こらないことを願います。

編集後記

「新学期が始まりました」と前号を出した直後に休講。今後また北海道が「まん防」に追加されるのかどうか、落ち着かない状況が続いています。加えて連日の猛暑ですが、通所する帰国者のみなさんからは、前向きな姿勢が感じられます。帰国者のみなさんと、しいたけに見習わなければ、と思います。(S)

ワクチンに対する不安も

ワクチン接種をためらう人もいます。

「この新型コロナウイルスのワクチンの効果は、まだはっきりしていない。本当に効果があるのかどうかのかわかるまでには時間が必要だ。予防接種そのものを否定するのではないが、今のところは打たないつもりだ」

「戦時中にお母さんがチフスのワクチン接種を受けて具合が悪くなり、しばらく寝込んでしまった。それから予防接種が怖くなって、何も受けたことがない。今回も受けるかどうか、まだ考えている」

「自分はアレルギーがあるので、今のところは受けない。それほど心配していない。今は毎日、畑仕事をしているので、ウイルスも逃げていく(笑)」。

「自分はアレルギーがあるので、今のところは受けない。それほど心配していない。今は毎日、畑仕事をしているので、ウイルスも逃げていく(笑)」。

ワクチンについては、もちろんそれぞれに考え方があります。今はただただ、この「コロナ禍」が早く過ぎ去ることを願うばかりです。



※8月・9月・10月の行事予定について

8月2日から8月31日まで、まん延防止等重点措置が札幌市に適用されることとなり、8月中の当センターでの日本語事業・交流事業はすべて中止となりました。

今後の行事開催についても状況を見ながらの判断となるため、今号の行事予定は不掲載とさせていただきます。